



多古町によろこそ！ レイモンド先生



令和5年11月から、多古中学校のALT（外国語指導助手）として、レイモンド・ザッカーリー先生が勤務することになりました。笑顔がすてきなレイモンド先生は、英語を聞くこと、話すことにチャレンジする生徒たちの学びを支えています！



【お名前】
Raimondo Zachary (レイモンド・ザッカーリー)
【出身】
アメリカ合衆国ユタ州

【趣味】
旅行、写真、プラモデル(ガンプラ)の制作など

【好きなもの】
日本の歴史や物語(大学で日本の歴史を学んでいました)
今は多古町のことが大好き！

【多古町の皆さんへメッセージ】
お会いできてうれしいです。皆さんとお友達になれたらいいなと思っています。
多古町の一員になれることを楽しみにしています。



テイラー先生！今までありがとう！



令和4年8月から約1年間、多古中学校のALTを勤めたテイラー・ハリス・ニコル先生が退職し、アメリカに帰国されました。英語を通じて、生徒たちにコミュニケーションを取る楽しさ・大切さを教えてくれました。テイラー先生ありがとうございました。

大学レスリングの集大成

11月19日(日)、多古町出身の山倉孝介選手(出沼・早稲田大学スポーツ科学部4年)が第49回内閣総理大臣杯令和5年度全日本大学レスリング選手権大会に出場し、74kg級で見事第1位に輝きました。

山倉選手は「どんな試合でも負けると思って戦いを挑むことはないのですが、今回は階級を変更し、二階級制覇や学生二冠という目標の達成もかかっていたので、試合ではとても緊張していました。その分、1位を取ったときのうれしさや安堵感は大きかったです」と試合を振り返ります。

今後の進路を伺うと「大学卒業後は、総合格闘技のプロの道に進みます。プロとして活躍することが甘くないことは分かっているので、これまで以上に努力を重ね、総合格闘技で世界を取りに行きます」と意気込みを語ってくれました。

努力と研鑽を重ね、数々の結果を出してきた山倉選手にとって、今回の大会はレスリング競技の集大成となりました。今後レスリングの選手としては活動されないそうですが、総合格闘技の強化のために競技自体は続ける予定とのこと。今後も新たな世界で活躍し、町民を元気づけてくれることを期待しています。



多古高生が給食メニューを考案

地元の農作物や生産者のことを知ってもらうため、多古高生が自分たちで育てた米や野菜、多古町産の食材を使った小中学校・こども園(4・5歳児)向けの給食メニューを考案しました。考案されたメニューの給食は11月29日(水)に提供されました。当日は、多古高生たちが各小中学校を訪問。真心を込めて、お米を育てたことなどを紹介し、小中学校の児童・生徒たちと一緒に給食を食べました。

多古中学校2年1組の生徒たちは、「いつもの給食と違う!」「とてもおいしくてご飯がどんどん進む」と話し、大好評でした。

多古高校3年生の小川久瑠実さんは「みんなが食べられるように味付けを工夫したり、献立のバランスを考えたりするのが大変でしたが、自分たちで育てたお米や野菜を食べてもらえてうれしかったです」と話してくれました。

子どもたちにとって、学校給食を通じて多古町の魅力を再発見できた貴重な機会となりました。



多古高生が育てた多古米をはじめ、「カレー風味ポークチャップ」「ささみときゅうりのナムル」「野菜たっぷりみそ汁」などのメニューが提供されました。